

## 向島百花園入場券裏面説明より抜粋

この庭は文化二年（一八〇五年）頃北野屋平兵衛こと、佐原鞠塙（きくつ）と云う粹人が当時の文人墨客の協力を得て梅を多く植えたことから「新梅屋敷」として創設したのが始まりとされています。次いで日本や中因の詩の古典である「萬葉集」「詩経」の中にある植物を集めて、文学植物を全園に配し四季花たえることのない花園として、江戸市民の嗜好に合い江戸時代から明治時代まで庶民的花園として栄えたものでした。明治以後たびたびの洪水で園は荒廃し維持も困難となり、昭和14年東京市営の名勝として公開することになり、昭和五十三年十月十三日には名勝および史跡に指定されております。

開園 昭和十四年七月四日

面積 一〇、八八五㎡

案内

春の七草——明治以来七草を竹箆に植えこんだ七草箆を新春皇室に献上している。

隅田川七福神めぐり——（本園は福祿寿）毎年一月一日から七日まで。

虫開きの会——八月下旬園内に、まつむし、すすむし、きりぎりす等を放つて自然を楽しむ会を行っている。

月見の会——中秋の名月を中心とした三日間月見のふさわしい催しを行ってゐる。